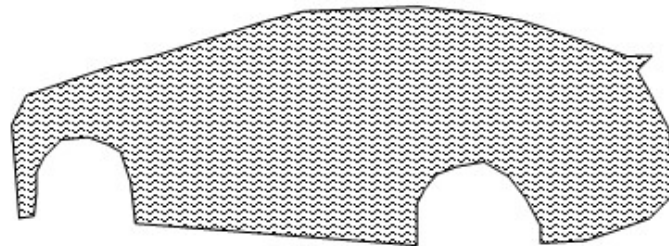


T O S S 大 阪

な み は や

Projection Mapping



<使用するソフト>

- ①パワーポイント
- ②ムービーメーカー
- ③サウンドエンジン (フリーソフト)

酒井基成
nori-sakai@toss-mio.com

1.スライドの全体構造

スライド アウトライン



1. アジャスター【2】

立体物にぴったりと重なるように、プロジェクタをセッティングする画面を、一番最初に持ってきます。



2. 音声データを入れるスライド【3】

ムービー中に流れる音声を設定するスライドです。映像とぴったり合うように音楽を自動で流すために、1と分ける必要があります。



3～. 本体の作成【4】

マッピング映像本体を作ります。

<スライドの自動切り替え>【4-1】
スライドの自動切り替え設定を行います。



<映像の挿入>【4-2】

映像ファイル（ムービークリップ）を入れると、ダイナミックな映像が簡単に作れます。

<アニメーション設定を応用>【4-3】

図形にアニメーションをつけて動かすもよし、いろいろなムービーを作ります。



<参考>

プリウスの色を変えるには、プリウスの図形にアニメーションをつけます。


次々に変化させる場面では、さまざまな色のプリウスの図形を何枚も重ねて、アニメーションをつけています。

2.アジャスターと基本パーツ&スライドの作成

この工程では、重要なパーツと、マッピング全体を貫く重要なスライドを設定をします。

スライド アウトライン

1



①基本パーツ
この例では、プリウスの型です。マッピングで特徴をつけたいところを切り抜いたパーツを作成します。

②基本スライド
投影する場所と、パーツの位置を正確に合わせます。

★上の2つがそろった、左のようなスライドが、全スライドの基本になります。

●右のような写真を使います。

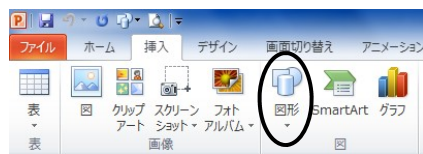
マッピング映像を投影する場所を、プロジェクタが当たる範囲の通りに写真撮影します。



①基本パーツ の作り方

まず、マッピング投影位置の写真を、スライドいっぱいにはり付ける。

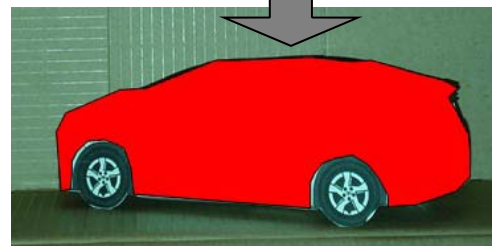
次に、下の図形挿入から、「フリーフォーム」を選択する。



[挿入]タブ
図形 を
クリック。
フリーフォーム
を選択。

プリウス（立体物）の形に合わせて、マウスをクリックして囲んでいく。ダブルクリックするか、最初の点に重なると図形が確定する。

目立つ色を塗っておく。

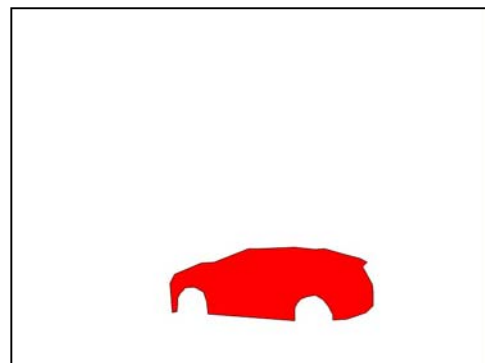


②基本スライド の作り方

基本パーツを、写真とピッタリの位置に合わせ、写真を削除する。

右の図が完成例。背景を目立つ色にしたものが、プロジェクタを合わせる「アジャスター」となる。

全てのシーンは、このスライドをコピーして作り始める。



3.音声データの挿入

この工程では、映像中に音楽を流す設定をします。

[挿入]タブから、右のアイコン、「オーディオ」をクリック。
「ファイルからオーディオ」をクリック。



流したい音楽のファイルを選択する。

スライド上に、音楽ファイルのアイコンが出てくるので、クリックする。



右のような「オーディオツール」というメニューが出るので、「再生」タブをクリック。
この部分で、「スライドの切り替え後も再生」を選択する。

何度も繰り返し再生する場合は、「再生が終了したら巻き戻す」もチェックを入れる。



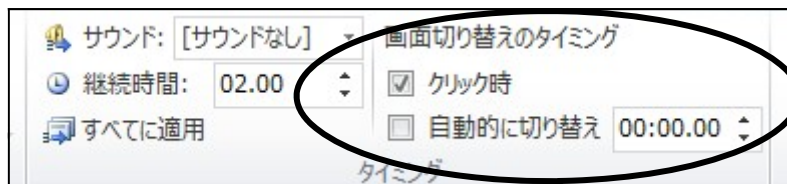
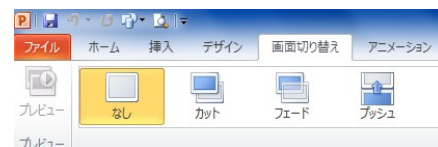
4.本体の作成

マッピング映像の本体を作ります。

< 1. スライド自動切り替えの設定 >

[画面切り替え]タブをクリック

右の方に、スライド自動切り替えを設定する場所がある。



「自動的に切り替え」で、その場面を見せる時間を設定する。
(分：秒：1/100秒)

★ムービーを途中で切りたい場合には、「自動的に切り替え」をうまく設定して、スライドが強制的に進むようにする。

例：ムービーがはじまって、3.5秒後に場面を切り替えたいとき、「00:03.50」に設定。

4.本体の作成 つづき

マッピング映像の本体を作ります。

<2. ムービーの挿入>

[挿入]タブをクリック
→ビデオ→ファイルからビデオ

とクリックしていく。



右のような画面が出るので、映像があるフォルダーまで進み、「挿入」をクリックする。



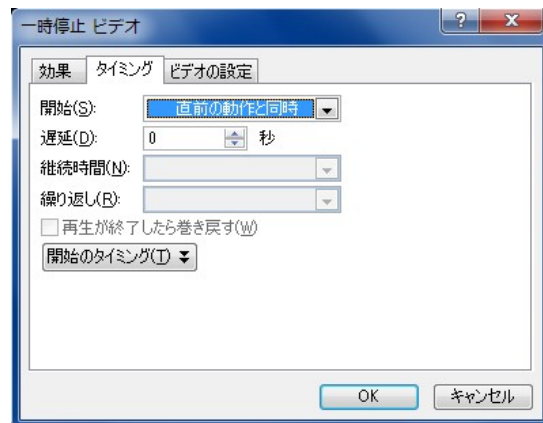
映像が挿入されたら、表示したい位置に動かしたり、大きさを変えたりする。

最後に、右クリック→「最背面に移行」
(2003では、「順序」→「最背面に移行」)
として、背景になるように設定しておく。

続いて、アニメーションの設定で、自動的にムービーが流れるように設定する。

アニメーションウインドウを開き、ムービー名を「開始」の項目を一番上に持っていく。右クリックし、「タイミング」をクリック。

「直前の動作と同時」に設定する。



アニメーションウインドウで、右のように表示されていればOK。
一度、スライドショーで自動的にムービーが流れるか、テストしてみる。



★継続時間や、画面切り替えの設定をうまくつかって、曲にあったタイミングでムービーを止めたり、スライドを切り替えたりすることができる。

4.本体の作成 つづき

マッピング映像の本体を作ります。

< 3. アニメーション設定を活用 >

もともとパワーポイントで作成できる、アニメーション機能を使って、アニメーションを作ることでもできる。

※映像のヒント

①基本パーツのいろを、さまざまに変化させる時

例えば赤、青、ピンク、紫、と変化させたいときは、

①赤の基本パーツに、アニメーションをつける。

②それを、コピー&ペースト

③青色に塗りつぶして、アニメーションをつける。

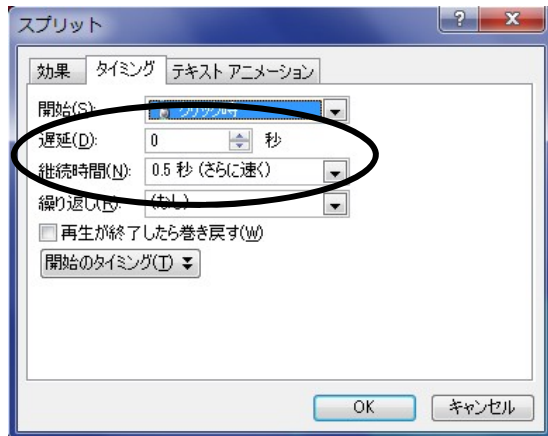
④それを、基本パーツの位置に、ぴたりと重ねる。

⑤青の基本パーツをコピー&ペースト。

⑥③～⑤と同様に繰り返して、ピンク、紫のパーツを重ねる。

⑦アニメーションウインドウから、タイミング「直前の動作の後」と設定し、自動的に切り替わっていくかを確認する。

⑧タイミングから、「遅延」や「継続時間」をうまく設定して、音楽に合わせた変化をつけることができる。



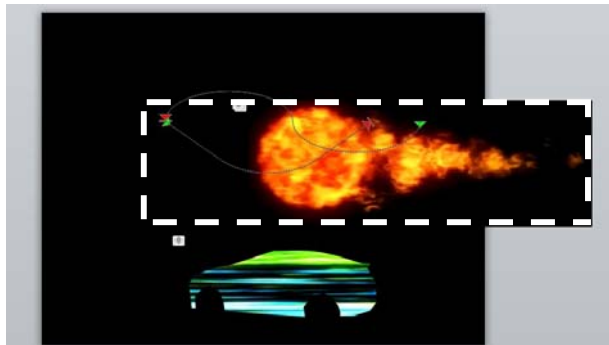
②「アニメーションの軌跡」をつかって、複雑な動きをつける。

上下左右に動き回る設定をするときは、アニメーションの軌跡が便利である。

ムービーに着けることもできる。

※作品例の「動く火の玉」は、この方法で作っている。

---部分ムービーで、アニメーションの軌跡も設定している。



時間	シーン	説明・タイミング等